メーソン黄金薔薇十字団

引用したバラ十字会日本支部によるこの部分の記述は 1776 年に設立されたメーソン組織についての記述の続きとなっています。端折りますが、次のような記述の流れです。

> 「古代組織黄金バラ十字団」
>
> 「1776 年に三剣ロッジのメンバー数人が、「古代組織黄金バラ十字団（The Golden Rosy Cross of the Ancient System）」と呼ばれる新しいバラ十字メーソン組織を設立した。ベルリン市の「三世界全国グランド・ロッジ」（The Grand National Mother Lodge of the Three Globes）がこの組織の活動拠点となった。・・・ゲーテはこの書によってバラ十字思想に入門したとされる。・・・この組織の諸儀式と教義は明らかに錬金術を志向していた。
>
> 錬金術とバラ十字思想とメーソン思想が混ざったこの運動は、「16 世紀および 17 世紀のバラ十字会の秘密の象徴」（Altona, 1785, 1788）と題する名高い本を生み出した。見事な挿絵入りの錬金術諸論文から主として成るこの本は、三つの〈宣言書〉以後の最も重要なバラ十字書であるとしばしば言及されている。
>
> **エッセネ派とテンプル騎士団**
>
> メーソン組織である古代組織黄金バラ十字団（我々はここで「メーソン」という言葉を、18 世紀バラ十字会とは全く無関係ながら同様の名称を使用している昨今の団体とは全く区別して使用していることを明記しておく）は、17 世紀のバラ十字運動とは異なる特徴を有しており、その起源は聖マルコに洗礼を受けたエジプトの聖職者オルムスあるいはオルミサス（Orums,or Ormissus）にまで遡ると主張していた。そしてオルムスはエジプト神秘学派とキリスト教を融合させ、オルムス派（Ormusiens）を設立し、赤色で装飾された黄金の十字を象徴として用いていた。西暦 151 年に、エッセネ派がこの学派と結合・・・」
>
> （バラ十字会日本本部）

1776 年設立の古代組織黄金薔薇十字団がオルムス派から来ていると記述していますが、当然といえるでしょう、ここではシオン修道会への言及は全くありません。しかし私の感覚的にはシオン修道会はこの 1776 年設立の古代組織黄金薔薇十字団の中に“潜った”ように感じます。